

(単位：千円)

決算書 (P 292～P 293)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,455	3,892			1,400	688 (譲収入)	1,804
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	563				563	

【目的】

休止施設を適切に維持管理するとともに、地元団体が地域の交流事業などで、施設を安全に使用できる状態を確保する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	清里区青柳 3438 番地
設置	山荘京ヶ岳 本館 平成 2 年度 山荘京ヶ岳 新館 平成 6 年度 フォークハウス湖畔 平成元年度
構造	山荘京ヶ岳 本館 木造 2 階建て 山荘京ヶ岳 新館 木造 2 階建て (地下：鉄筋コンクリート造) フォークハウス湖畔 鉄筋コンクリート造 3 階建て
施設内容	山荘京ヶ岳 本館、新館 ※平成 29 年度から休止 フォークハウス湖畔 ※平成 29 年度から休止 坊ヶ池湖畔公園 炊事場・トイレ
面積	延床 1,903.39 m ² (本館 499.44 m ² 、新館 1,036.05 m ² 、湖畔 367.9 m ²)
管理	直営
開設期間	坊ヶ池湖畔公園 4 月 21 日～10 月 31 日
利用形態	公園施設

※平成 29 年度から「山荘京ヶ岳」、「フォークハウス湖畔」を休止しているが、地元団体から、イベントや地域の交流事業などでの施設使用希望があり、同年度から山荘京ヶ岳新館の一部 (大広間・厨房) の使用を許可している。

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

○施設の管理実績

- ・施設管理における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	-	-	-	
	その他	617	631	688	
	合計	617	631	617	688
②支出	施設維持管理費	5,633	3,946	4,455	3,892
	うち委託料	1,558	1,753	2,082	1,804
	その他	-	-	-	-
	合計	5,633	3,946	4,455	3,892
③公費投入額 (②-①)	5,016	3,315	3,838	3,204	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	-	-	-	-	

【事業の成果】

- ・施設内設備等の維持管理を適切に実施したことにより、地元団体が休止後の施設を安全に使用できている。
- ・地元団体が「山荘京ヶ岳」の使用許可を受け、イベントや交流事業で56日間(参加者数2,298人)使用した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設の適切な維持管理を行っていく。

【執行残額について】

その他：少雪による屋根雪等除雪業務委託料及び除雪機借上料が、当初見込みを下回ったことによる執行残 563

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	三和米と酒の謎蔵管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
893	799					799
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	94				94	

【目的】

隣接する三和味の謎蔵と一体的に市の展示物・物品を収納する保管庫として活用するなど、施設の有効利用を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	三和区大 867 番地 1		
設置	平成 4 年度		
構造	木造一部 2 階建て (地下 1 階)		
施設内容	中央棟、展示棟、展望台、その他附属施設	※平成 28 年度から休止	
面積	延床 1,374.53 m ²		
管理	直営		
利用形態	保管庫 (倉庫)		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	-	-	-
	合計	-	-	-
②支出	施設維持管理費	983	872	893
	うち委託料	584	538	528
	その他	-	-	-
	合計	983	872	893
③公費投入額 (②-①)	983	872	893	799
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位：円)	-	-	-	-

決算書 (P 292～P 293)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	三和米と酒の謎蔵管理運営費		

【事業の成果】

- ・市の展示物や物品を収納する保管庫として、施設の維持管理費を必要最低限に抑えている。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 94

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,167	10,704		137		4,150 (使用料、財産収入)	6,417
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	463				463	

【目的】

名立区の自然を生かした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・利用者数：13,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 名立区名立小泊798番地1

設置 平成5年度

施設内容 ビッグボブスレー：全長470m ローラースライダー：全長190m

アスレチック：木製15基 芝生広場：1,200㎡

展望台：木造 地下1階・地上2階建て 延床299.42㎡

バーベキューハウス：木造平屋建て 78.67㎡

パーゴラデッキ付休憩棟：木造平屋建て 216.37㎡

管理棟：木造平屋建て 132.2㎡ 等

面積 約35ha

営業期間 4月20日～10月27日の土曜・日曜・祝日(夏休みは金～日曜・祝日)

※お盆期間(8月13日～15日)は無休

管理 直営

利用形態 公園施設

決算書 (P 292～P 293)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			目 標	実 績
利用者数	13,443 人	11,695 人	13,000 人	14,755 人

・施設管理における市の収支状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	使用料収入	3,845	3,258	3,773	4,100
	その他	55	533	187	187
	合計	3,900	3,791	3,960	4,287
②支出	施設維持管理費	8,439	8,900	11,167	10,704
	うち委託料	712	620	777	777
	その他	-	-	-	-
	合計	8,439	8,900	11,167	10,704
③公費投入額 (②-①)		4,539	5,109	7,207	6,417
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		338	437	554	435

○目標達成状況

- ・利用者数は目標に対して 1,755 人多い 14,755 人であり、目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・予定した修繕を迅速に実施するなど、適切な維持管理を行った結果、事故の発生は無く、安全な利用環境を提供することができた。
- ・4 月下旬から 5 月上旬にかけての大型連休が好天に恵まれたことにより、結果として平成 30 年度を大幅に上回る入込となった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・風害や塩害により施設や設備の老朽化が進行しているため、引き続き適切な点検と計画的な修繕を行っていく。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 463

(単位：千円)

決算書 (P292～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,170	10,017			5,100	880 (使用料、財産収入、謝礼金)	4,037
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	153				153	

【目的】

自然環境を生かした余暇活動の場を提供するとともに、光ヶ原高原、関田山脈の魅力を伝える拠点施設として充実を図り、信越トレイルのビジターセンターとしての利用を促進し、地域の活性化を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・利用者数：23,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 板倉区関田 4046 番地 2

設置 昭和 63 年度

構造 グリーンパル光原荘：木造一部鉄骨造 2 階建て

光ヶ原高原センター：鉄筋コンクリート造 2 階建て

施設内容 グリーンパル光原荘：客室 7 室、休憩室 2 室、シャワールーム

キャンプ場：バンガロー（木造 4 棟）、テントサイト（10 箇所）、

野外トイレ（1 棟）、炊事場（1 箇所）ほか

光ヶ原高原センター：トイレ、休憩スペース

面積 29.77ha

管理 直営

利用形態 グリーンパル光原荘：日帰り及び宿泊施設、光ヶ原高原センター：休憩施設

※平成 27 年度から「光ヶ原高原センター」を休止してきたが、地元団体から、イベントや来訪者への対応として一部開放の強い要望を受け、平成 29 年度からトイレ及び休憩スペースとして一部開放している。

決算書 (P 292～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			目標	実績
利用者数	22,814 人	15,647 人	23,000 人	15,745 人

・施設管理における市の収支状況

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	385	281	418	440
	その他	113	128	—	440
	合計	498	409	418	880
②支出	施設維持管理費	10,372	9,080	10,170	10,017
	うち委託料	6,367	5,864	5,658	5,658
	その他	—	—	—	—
	合計	10,372	9,080	10,170	10,017
③公費投入額 (②-①)		9,874	8,671	9,752	9,137
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		433	554	424	580

○目標達成状況

- ・利用者数は目標に対して 7,255 人少ない 15,745 人となり、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・信越トレイルのビジターセンターに指定されているグリーンパル光原荘や周辺のテントサイトは、トレイルへのアクセス性に優れ、多くのハイカーの宿泊や休憩に利用されており、交流人口の拡大に一定の成果を上げている。
- ・信越トレイルの拠点施設及び県境施設として、市内及び近隣の観光情報等を提供するとともに、景観に配慮し、環境美化に努めた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・6、7月の悪天候や10月の台風19号による県道上越飯山線道路災害復旧工事に伴う交通規制により施設閉鎖が例年より早まったこと等から、利用者数の実績は目標より大幅に下回った。
- ・施設は、建設から30年以上経過していることや、冬期間の厳しい環境条件による構造部の劣化が確認できることから、引き続き計画的な修繕を進め、安全な利用環境を確保する。
- ・信越トレイルのビジターセンターとして、利用者のニーズに促した施設運営を進めていく。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 153

(単位：千円)

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
60,615	57,687	373			978 (諸収入)	56,336
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,928	244	450	699	1,535	

【目的】

雪国としての風土や歴史、その中で育まれた食や生活文化など、当市の物語性豊かな観光資源をいかした交流人口の拡大を図るため、観光関係者や市民の主体的参画を得ながら、市内観光の回遊性を高めるとともに、市民や国内外から訪れる旅行者の利便性の向上を図るための取組を進める。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

佐渡広域観光誘客事業 834

○令和元年度目標

- ・連携事業による送客人数：700人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 佐渡市・上越市観光・航路連絡協議会負担金 (805)

- ・小木直江津航路の活性化や両市の観光振興を推進するため、PRイベントに参加したほか、両市市民の相互送客ツアー造成等を実施した。
- ・今後拡大が期待される訪日外国人旅行者を市内に取り込むため、平成30年度に造成した上越妙高駅からの交通機関フリーパス「SADO-JOETSU Pass」のPRを行った。

(2) 会議等出席旅費 (29)

- ・佐渡金銀山ガイドンス施設「きらりうむ佐渡」の開館記念式典に出席した。

○目標達成状況

- ・各送客ツアーの利用者は目標を上回ったものの、「SADO-JOETSU Pass」の利用者が伸び悩んだため、送客人数の実績は524人とどまり、目標を達成することができなかった。

観光営業事業 1,995

○令和元年度目標

- ・市内外で開催されるイベントや商談会などの機会を捉えて、集客イベントへの誘客に取り組むとともに、時季に応じた市内の見どころや体験プログラムに関する情報発信を強化する。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○実施内容、これまでの経過等

- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会など関係団体と連携、役割分担をしながら本市への誘客促進に向け取り組んだ。
- (1) 首都圏・関西圏での営業活動 (899)
 - ・新潟県観光協会等が主催する観光商談会や観光PRイベントに参加した。
 - ・新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンに係るPR等を実施した。
 - ・関西の旅行事業者への営業活動を実施した。
- (2) 姉妹都市・広域観光連携都市での観光PR活動 (770)
 - ・姉妹都市や北陸新幹線沿線自治体、集客プロモーションパートナー都市などで開催される集客イベント等での観光PR活動を実施した。
- (3) 高田城百万人観桜会における観光PR活動等 (151)
 - ・JR東日本が運行する臨時列車「高田お花見号」での利用客への観光PRを実施した。
 - ・観桜会の会場において、北陸新幹線沿線都市等との連携による観光PRブースの設置を行った。
- (4) 上越妙高駅新幹線改札前PRスペースでの情報発信 (175)
 - ・JR東日本が情報発信拠点として整備したスペースを活用し、駅利用者に対して本市イベント等の開催にあわせてPRを行った。

○目標達成状況

- ・新潟県観光協会主催の商談会への参加や関西圏の旅行事業者への営業を通じて、観光素材やモデルコースの提案を行うことで、旅行商品の造成を促した。
- ・新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンのイベントや姉妹都市、北陸新幹線沿線自治体での集客イベントに参加し、観桜会や水族博物館うみがたりなど集客力の高い観光資源とあわせて周辺の観光資源をPRすることで、市内の見どころや体験プログラムの情報発信を強化した。

各種団体等との連携事業 5,695

○令和元年度目標

- ・北陸新幹線開業で利便性が高まった首都圏及び関西圏からの誘客を始め、訪日外国人旅行者から本市を訪れていただけるよう、関係団体と連携しながら誘客の促進を図る。また、令和元年秋に本番を迎えるJRの新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン開催に向け、観光素材をいかした周遊・滞在交流型観光の充実に取り組む。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 各団体負担金 (5,598)
 - ・ほくほく線沿線地域振興連絡協議会 (1,344)
 - 情報誌やフェイスブックによるイベントの情報発信や観光スポットの周知、「うまさぎっしり新潟」新潟県観光商談会への参加等により、本市の観光情報を発信した。また、スタンプラリーの実施や沿線地域のイベントへの助成を通じて、地域の交流人口の拡大に寄与した。
 - ・公益社団法人新潟県観光協会 (1,803)
 - 観光情報の発信、誘客宣伝活動等を行い、地域経済の持続的な発展と活力に満ちた地域社会づくりの実現に寄与した。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

- ・新潟県国際観光テーマ地区推進協議会 (150)
インバウンドの誘客拡大のため、東アジア、東南アジア等市場における現地セールスや海外旅行事業者等の招へいによる旅行商品造成の働きかけを行った。
 - ・にいがたスキー100年委員会 (166)
県内のスキーに係る基礎情報の整備、各種メディアを活用した効率的かつ効果的な情報収集と情報発信を行った。
 - ・上信越ふるさと街道協議会 (10)
長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の関係団体と連携した情報発信等を行った。
 - ・北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 (400)
台湾・香港・アメリカ・オーストラリアに向けて、フェイスブックで北陸新幹線停車駅の13都市の観光情報を発信し、インバウンドの誘客促進を図った。
 - ・日本さくらの会 (10)
国花である「桜」の愛護、保存、普及活動等の取組を行った。
 - ・「うまさぎっしり新潟」観光推進協議会 (983)
新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンの取組の中で、妙高・上越地域の観光コンテンツを紹介した公式ガイドブックを作成し、全国のJR主要駅、新潟県・庄内エリアの観光施設・ホテル旅館、高速道路SA・PA等へ配布した。また、新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンのイベントへの参加やJR産直市への参加を通じて、観光PRを行った。
 - ・北アルプス日本海広域観光連携会議 (630)
サイクリングをテーマとした誘客に向け、台湾メディア及び旅行事業者の視察の受入れや台湾旅行事業者への営業活動などを実施し、当市並びに当エリアの認知度向上と誘客促進を図った。
 - ・関東観光広域連携事業推進協議会 (100)
2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に、外国人旅行者の誘客のための各種取組（動態調査、モニターツアー、プロモーション事業、情報発信、インバウンドセミナー実施等）により、関東（新潟県、長野県、福島県を含む）における外国人旅行者の受入環境整備の推進及び関東の国際的な観光認知度の向上を図った。
 - ・新潟県スキー観光産業振興協議会負担金 (2)
県内のスキーに関するイベントの実施や各種イベントでの情報発信、スキースクールの実施等により、県内スキー観光産業の振興を図った。
- (2) 団体会議等への出張旅費等 (97)

○目標達成状況

- ・各団体の事業を通じて当市の情報発信や誘客に向けた取組を行い、認知度向上と誘客促進を図った。

観光宣伝物作成事業 11,062

○令和元年度目標

- ・水族博物館「うみがたり」や歴史博物館など新たにオープンした施設を始めとする市内の観光資源の情報を、時宜をとらえて効果的に発信する。

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○実施内容、これまでの経過等

(1) 各種パンフレット等の作成 (7, 161)

- ・ 総合パンフレット[増刷] 70,000 部 (4, 158)
- ・ 春日山城跡めぐり[増刷] 60,000 部 (1, 069)
- ・ 港町直江津さんぽ[増刷] 80,000 部 (1, 188)
- ・ 高田まちなか回遊マップ 80,000 部 (746)

(2) 画像編集ソフトの購入 (53)

- ・ 各種キャンペーン等で使用するイベントなどの告知用宣伝物の作成や、情報誌やWebへ提供する画像など、観光宣伝に必要な素材の編集に使用するためのソフトウェアの年間使用権を購入した。

(3) 観光PR動画作製 (3, 848)

- ・ 当市の主要な観光資源に加え、当市ならではの魅力的な観光資源の周遊に資する動画をYouTubeを始めとするSNSの発信に適した短編形式で作製した。

○目標達成状況

- ・ 各種商談会やイベントにおけるパンフレット等の配布や市内外の観光施設や集客施設へのパンフレット等の配置により、情報発信と誘客に努めた。
- ・ 当市の観光・体験・交流など多様な魅力を紹介する新しい観光PR動画を作製し、YouTubeの上越観光Navi公式チャンネルや上越観光Navi内の特設ページへ掲載することにより、市内外へ効果的に発信した。

上越地域連携事業 1, 400

○令和元年度目標

- ・ 上越地域の自治体や関係団体と連携した情報発信や共同事業の実施により、当市への観光誘客を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 広域観光パンフレット等の作成委託料 (1, 000)

- ・ 上越・妙高広域観光パンフレット「上越・妙高」の作成委託

(2) 新潟観光ブランド確立支援事業負担金 (200)

- ・ 上越地域の観光誘客の拡大等を図るため、上越・糸魚川・妙高広域観光ブランド推進検討会において、3市の広域観光事業として、サイクリング推進事業や冬のインバウンド3市周遊促進事業を実施した。

(3) 久比岐自転車道魅力アップ実行委員会負担金 (200)

- ・ 久比岐自転車道キャンペーンの実施、日本最大級の自転車イベント「サイクルモード」への出展、サイクルステーションの修繕、久比岐自転車道ガイドマップの日本語版増刷及び外国語版を作成した。

○目標達成状況

- ・ 近隣自治体や県、観光協会と連携し、上越地域の様々な魅力を効果的に発信することで認知度の向上に寄与したほか、サイクリングをいかした誘客や冬のインバウンドの当市への周遊に向けて、参考となる意見等を得ることができた。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

信越トレイル利用促進事業 20

○令和元年度目標

- ・信越トレイルの利用者数:6,000人(市内の測定可能な箇所での利用者数の目標値)

○実施内容、これまでの経過等

- ・信越トレイルコースと市内観光施設への利用者増加につなげるため、上越観光Naviによる情報発信やパンフレットを設置するなどPRを行った。

○目標達成状況

- ・ハイシーズンである7月の天候が優れなかったこと、台風19号の被害によりトレイルコースが利用できなかったことから、利用者数は3,952人となり、目標を達成することができなかった。

謙信公ゆかりの地振興事業 4,802

○令和元年度目標

- ・上越市埋蔵文化財センターで開催する企画展の入込数:29,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 謙信公ゆかりの地振興事業交付金(1,346)

- ・官民一体となって組織された「謙信公の郷振興協議会」に交付金を交付し、各種事業を実施することにより、上杉謙信公と春日山城を中心とした上越市の魅力を市内外に発信し、誘客促進を図った。

<謙信公の郷振興協議会の主な事業>

- ・企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」の開催
 会期:平成31年4月1日(月)～令和2年3月31日(火)
 会場:上越市埋蔵文化財センター
 入場者数:33,312人
 内容:上杉謙信公と春日山城を中心に戦国時代の越後上越の様子を映像やジオラマで紹介したほか、謙信公祭での川中島合戦の再現をVRで体験できるコーナーを設置した。
- ・無料シャトルバスの運行
 観桜会期間中の桜の最盛期に来訪者を観桜会の会場から春日山城跡周辺及び上越市埋蔵文化財センターへ誘客するため、観桜会期間中の土・日曜日に無料シャトルバスを運行した。
- ・「上杉謙信公ゆかりの地をめぐるリレー講演会」の開催
 上杉謙信公の遺徳を広く市民に伝えるため、上杉謙信公や史跡に関する講義と、謙信公ゆかりの地での現地解説を組み合わせたリレー講演会を開催した。(参加人数18人)
- ・「上杉謙信公学習会」の開催
 子どもたちの上杉謙信公に対する関心を高めることで、「謙信公のふるさと・上越市」への誇りと愛着を育むため、小・中学生を対象とした謙信公ゆかりの史跡を訪ねる学習会を開催した。(参加人数22人)
- ・宣伝広告等
 企画展等を市内外に広くPRするため、雑誌・フリーペーパーを始めとする各種媒体へ広告を掲載したほか、「越後上越 上杉おもてなし武将隊」による宣伝活動を行った。また、

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

上越 I C、上越高田 I C から春日山城跡や上越市埋蔵文化財センターへの案内看板を設置した。

(2) 「第 94 回謙信公祭タイアップ企画 ご当地グルメ×国際交流フェスタ」開催 (3, 456)

開催日：8 月 24 日 (土)、25 日 (日)

会場：上越市役所春日野駐車場

内容：地元からの飲食や物販の出店に加え、市内在住外国人、朝市出店者、地元学生の出店により多様な交流の場所を提供した (計 38 店)。また、甲冑体験・謙信公紹介コーナー、「私の考える義の心」パネルの設置を行った。

○目標達成状況

- ・ゴールデンウィークが 10 連休であったことなどから、企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」の入込数は 33, 312 人となり、目標を達成することができた。

「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業 23, 512

○令和元年度目標

- ・春日山城跡入込数：250, 000 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光客受入体制充実事業委託料 (22, 702)

- ・春日山城跡や上越市埋蔵文化財センター等で、観光ガイドや写真撮影、VR 体験の実施などのもてなし活動を行った。
- ・市内外での観光 PR やイベント出演などにより、「上杉謙信公のふるさと上越市」を全国に発信し、当市の認知度向上や誘客促進を図った。

(2) 事業用車両点検整備等 (810)

○目標達成状況

- ・春日山城跡への入込数は 282, 360 人であり、目標を達成することができた。

灯の回廊事業 4, 215

○令和元年度目標

- ・各区のイベントの一体的な情報発信を行い、来訪者の少ない冬季の誘客促進につなげるとともに、住民が主体となって取組が広がり、市内各地区へつながるよう働きかける。
- ・目標入込数：30, 000 人

○実施内容、これまでの経過等

開催日 令和 2 年 2 月 22 日 (土)

会場 安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区 (岩の原葡萄園周辺)、名立区 (不動地域)

主催 安塚キャンドルロード実行委員会、大島雪ほたるロード実行委員会、うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会、牧まちづくり実行委員会、高士地区雪まつり実行委員会、不動森あげ米かい、上越市

事業内容 上越市の冬の一大イベントとして、安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区及び名立区の雪灯りイベントをつなぎ合わせた一体的な PR を行った。

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

- ・経費の内訳
 - 消耗品（ろうそく、紙コップ等購入）（3,090）
 - ポスター・パンフレット作成（819）
 - パンフレット市内全戸配布運搬料等（253）
 - 道路使用許可申請手数料（2）
 - バス運行業務委託（51）

- ・入込数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入込数	23,780人	28,430人	9,220人

○目標達成状況

- ・記録的な少雪により開催を取りやめる会場があるなど、一部内容を変更して開催した。
- ・少雪のため、例年に比べ自家用車による各会場へのアクセスはしやすい状況ではあったものの、キャンドル設置を予定していた会場の半数以上が開催取りやめとなったことや、当日は降雨や強風などの荒天だったことから、入込数は例年に比べ大きく減少し、目標を達成することができなかった。

観光振興計画策定事業 289

○令和元年度目標

- ・観光振興計画を第6次総合計画を下支えする計画と位置付け、策定を完了させる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・4回の観光振興計画策定検討委員会や2回の観光地域づくりワークショップなどを通じて、幅広い年代、地域、業種の皆さんと意見交換し、「上越市観光交流ビジョン」を策定した。
- ・また、ビジョンに基づき、行政が行う事業や民間事業者・団体等が行政と連携して取り組む事業を取りまとめた「アクションプログラム」を策定した。

○目標達成状況

- ・行政や観光事業者、団体の取組計画として「何をするのか」を定める前提として、上越をどのような観光地域にしていくのかという「ビジョン」に焦点をあてた「上越市観光交流ビジョン（令和2年度～令和5年度）」を策定することができた。

観光インフォメーション利用環境整備事業 1,394

○令和元年度目標

- ・四季の見どころや体験プログラムなどについて魅力的な画像・映像を多く用いながら紹介するとともに、サイトの利便性や操作性の向上に向けた技術的な改修を随時行う。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 筆耕翻訳料（38）
 - ・上越観光N a v iに掲載する観光スポットの情報の更新に伴い、英語翻訳を行った。
- (2) 観光インフォメーションウェブサイト保守管理委託料（1,356）
 - ・上越観光N a v iで閲覧が最も多いイベントカレンダーに祝日表示を追加するなど、利便性の向上を図った。

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

- ・上越観光Naviの観光スポット情報を更新した際、新潟県観光公式サイト「にいがた観光ナビ」に掲載の当市の観光スポット情報も同様に更新されるデータ連携の仕組みを構築した。

○目標達成状況

- ・利用者の目線に立ちながらサイトの利便性の向上に必要な機能等を随時更新し、当市ならではの歴史、文化、風土、物語をいかした周遊観光の新たな魅力をPRすることができた。

インバウンド推進事業 1,978

○令和元年度目標

- ・市内の観光事業者がインバウンドの推進に取り組むことを促すとともに、当市の観光資源を広く発信し、来越への動機付けとし、訪日外国人旅行者の誘客を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越市インバウンド推進事業補助金 (757)

- ・市内の観光事業者(宿泊、飲食、交通、物販等)が誘客のために取り組む活動に要する経費の一部を補助した。

(2) クレジットカード利用端末機導入費等補助金 (804)

- ・市民や国内外から訪れる旅行者の利便性の向上を図るため、タクシー事業者が行うクレジットカード端末機等の導入に係る経費の一部を補助した。

(3) 報償費ほか (417)

- ・冬期間に妙高市を訪れる外国人スキー客を当市へ誘客するため、高田地区及び直江津地区の英語版手作りマップを修正・増刷し、市内宿泊施設、飲食店等や妙高市内宿泊施設に配布した。
- ・上越市インバウンド推進協議会の主催により、インバウンドについて市内の事業者から理解を深めてもらうためのセミナーを開催した。

○目標達成状況

- ・上越市インバウンド推進事業補助金により、観光事業者の海外での営業、ホームページやメニュー表、パンフレット等の多言語化に係る経費を支援することで、民間主導によるインバウンド推進を促すことができた。

観光地域づくりモデル事業 491

○令和元年度目標

- ・事業者や団体が連携することにより創出される上越ならではの周遊・滞在型観光の魅力や市民が観光に積極的に参画することの効果について共有を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・観光を取り巻く時代や環境の変化の中で、市民や事業者自らが当市の魅力を再確認、学習するとともに、本事業を契機に参加者同士の「横のつながり」が築かれ、自らが「観光の担い手」となって主体的に参画する人材の輪を広げることを目的として、市内観光資源の視察とワークショップを一連のプログラムとしたセミナーを10月に実施した。
- ・参加者からは「初めて行ったところも多く、たくさんの魅力に気付かされた」、「ほかの人に『何もない』と言わないようにしたい」、「商談会などで上越市の説明をするときの“引き出し”が増えた」などの意見があり、その様子などを「上越市観光交流ビジョン」の中で紹介した。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

- ・市内の観光資源の視察では、「市内に旅行に来たつもり」になっていくつかの資源を回ったことで、参加者が当市の魅力を再発見・学習することができたとともに、視察した資源の魅力の伝え方を考えるワークショップを行い、相手にあわせて自らの言葉で「伝える」ことの難しさと大切さを確認することができた。

【事業の成果】

- ・広域観光連携の取組では、糸魚川・上越・妙高の3市連携においてガイド付きのサイクリングモニターツアーや外国人スキー場スタッフ等に対するスタディツアーを実施することにより、今後の方策に役立つ情報を得ることができた。また、北陸新幹線沿線都市連携協議会における海外向けフェイスブックを活用し、当市の観光情報を定期的に発信したほか、北アルプス日本海広域観光連携会議の取組において、海外メディアや旅行事業者を招へいし、市内に立ち寄るツアーの造成につなげることができた。
- ・新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンにおいては、上越地域（糸魚川・上越・妙高）が連携して、継続的に首都圏及び関西圏で開催される商談会や情報交換会へ参加することにより、旅行事業者における上越地域の知名度向上と市内に立ち寄るツアーの造成につなげることができた。
- ・観光地域づくりモデル事業では、自らが「観光の担い手」となって主体的に参画することの意識の共有を図るとともに、参加者同士の「横のつながり」を構築するなど、地域全体で観光地域づくりに取り組むための機運の醸成を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・関西圏の旅行事業者では多くの団体旅行が催行されている。一方で、首都圏の旅行事業者では団体旅行の取扱いが減り、個人旅行の取扱いが増えてきていることから、引き続き直接個人へ情報が届くようなより効果的な仕掛けを検討していく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、旅行形態の変化も想定されることから、状況を注視しながら、事業者への情報提供や新たな仕掛けを検討していく必要がある。
- ・佐渡金銀山世界遺産登録を見据え、平成30年度に造成した上越妙高駅からの交通機関フリーパス「SADO-JOETSU Pass」の活用も含め、今後の受入れ環境の整備について、佐渡市との協議を進めていく必要がある。
- ・「上越市観光交流ビジョン」に掲げた将来のありたい姿などを、市民や事業者などと共有しながら、観光PRや旅行者の受入環境の整備など、様々な取組を一体となって進めることにより、一年を通じて楽しい交流が生まれる観光地域づくりを推進する必要がある。

【執行残額について】

事業費節減：観光営業事業に係る旅費、手数料の節減	156
各種団体等との連携事業に係る旅費の節減	88
事業未実施：灯の回廊事業において少雪による開催会場減に伴うバス運行の取りやめ	213
観光宣伝物作成事業に係るポスター作成中止に伴う執行残	237
入札差額：灯の回廊事業に係る消耗品購入のほか、庁用車修繕等の入札差金	699
その他：佐渡広域観光誘客事業に係る負担金の執行残ほか	195
謙信公ゆかりの地振興事業交付金の執行残	487
インバウンド推進事業補助金等の申請件数の減に伴う執行残	439
事業実施に伴う執行残	414

(単位：千円)

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	友好交流促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,207	5,014					5,014
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	193				193	

【目的】

海外の姉妹・友好都市との幅広い分野での相互交流により友好親善を促進するとともに、地域社会の活性化に寄与する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・海外友好都市との友好関係を更に発展させるため、オーストラリア・カウラ市への訪問や職員の受入れ、中国・大連市旅順口区の訪問団の受入れを実施する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・8月にオーストラリア・カウラ市を上越日豪協会の代表者ととともに訪問し、今後の両市の交流事業について意見交換を行うとともに、「75周年記念カウラ捕虜脱走事件慰霊祭」に出席した。あわせてINPEXダーウィン事務所を訪問し、現地視察を行うとともに、上越地域の観光についてプレゼンテーションを行った。
- ・中国・大連市旅順口区から、4月に区長訪問団を受け入れた。

○目標達成状況

- ・オーストラリア・カウラ市とは、これまでの友好関係を土台に、今後も発展的な交流の関係性を築いていくことをあらためて確認したほか、「75周年記念カウラ捕虜脱走事件慰霊祭」への出席を通じて、オーストラリアと日本の平和友好交流における当市の取組が広く発信された。また、INPEXダーウィン事務所において観光PRを実施したことにより、現地旅行会社のパンフレットに当市の情報が掲載されるなど、観光PRにつながった。
- ・中国・大連市旅順口区とは、平成11年に調印した「友好交流意向書」から20年を迎え、今後も友好交流を継続していく意向を確認した。

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	友好交流促進事業		

【事業の成果】

- ・オーストラリア・カウラ市への訪問や中国・大連市旅順口区からの訪問団の受入れなどを通じて、国際交流の絆を深めることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・海外の友好都市に関する情報について機会を捉えて発信し、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、市民が主体となる取組を促しながら、友好関係を発展させていく。

【執行残額について】

その他：海外友好交流訪問事業委託料の執行残 102
事業実施に伴う執行残 91

(単位：千円)

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	越後田舎体験推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,935	3,684					3,684
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	251		193		58	

【目的】

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・情報発信の強化などにより営業活動の充実を図るとともに、受入家庭及びインストラクターを確保し、受入数 40 団体、4,000 人、8,000 泊を目標とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・事業主体 越後田舎体験推進協議会
- ・市内受入地域 安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、吉川区、板倉区、清里区、三和区及び名立区 (11 区)
- (1) 受入体制の維持・強化に係る取組 (347)
 - ・民泊家庭、受入地域開拓のための周知・勧誘活動を実施した。
- (2) 各種営業活動、研修会等への参加 (613)
 - ・首都圏、関西圏域の旅行事業者や学校等を訪問する営業活動を実施した。
- (3) 越後田舎体験推進協議会負担金等 (2,379)
 - ・越後田舎体験の推進を目的に官民で組織している協議会への負担金 (2,369)
負担金：上越市 2,369 (46%) 十日町市 2,781 (54%)
 - ・大島庄屋の家の越後田舎体験推進協議会会費 (10)
- (4) 越後田舎体験事業での受入れ等に係る消耗品購入ほか (345)

○目標達成状況

- ・受入数は、40 団体、3,273 人、6,528 泊となり、人数及び宿泊数は目標を達成することができなかった。

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	越後田舎体験推進事業		

・越後田舎体験受入数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
団体数 (団体)	43	43	40
人数 (人)	3,452	3,959	3,273
宿泊数 (泊) ※延べ宿泊数	7,657	8,081	6,528

【事業の成果】

- ・受入人数及び宿泊数は、目標を達成することができなかったものの、売上げは、宿泊施設、インストラクター及び民泊受入家庭である市民の収入となっており、地域経済に寄与した。
- ・国内の学校に加え、6月にアメリカ、7月には韓国、11月には中国からそれぞれ学生を受け入れた。
- ・新たに企業研修を3件受け入れた。
- ・国の農山漁村振興交付金（農泊推進対策）を活用し、外国語の情報発信資料や動画の制作、自然素材を活用した体験の研修、インバウンド受入れに向けたワークショップを行い、受入体制を強化した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・全国的に農山漁業体験の受入れを行う地域・組織が増え、競争が激しくなっており、今後は、外国人観光客を取り扱う旅行会社にも営業活動を行い、取組を拡大していく。
- ・今まで事業の対象は学生のみであったが、大人を対象とする旅行についても検討していく必要がある。
- ・民泊受入家庭の高齢化に伴い受入数が減少していることから、新規受入家庭の増加及び受入集落の拡大に向けた取組を強化する必要がある。また、既存の受入家庭を対象に新しい生活様式を取り入れた安全安心な受入環境整備などの研修会を行っていく必要がある。
- ・新規団体の開拓に向け、民泊受入家庭等との意見交換を行いながら、当市ならではの体験プログラムの充実を図るほか、地域の魅力を発信していく必要がある。

【執行残額について】

事業未実施：営業活動体制の見直しによる執行残	85
新型コロナウイルス感染症の影響に伴うフォーラム中止による執行残	108
その他：事業実施に伴う執行残	58

(単位：千円)

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
120,009	116,422	4,403	2,618	3,600	14,434 (使用料、財産収入、 諸収入)	91,367
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,587				3,587	

【目的】

市内観光施設の安全・安心な利用を確保するため、維持管理や施設整備を行うとともに、豊かな自然と歴史文化に触れる場をいつでも提供できる状態とすることにより、観光誘客と地域振興を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- 各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

○実施内容、これまでの経過等

<合併前上越市> 73,881

[維持管理施設]

金谷山公園公衆トイレ、春日山城跡(駐車場、公衆トイレ、多目的トイレ)、愛の風公園、愛宕谷公園、親鸞聖人上陸の地、鏡ヶ池公園、前島記念公園、バイシクルモトクロス場公衆トイレ、寺町駐車場、寺町3丁目公衆トイレ、居多神社前駐車場、国分寺駐車場、南高田駅駐輪場、林泉寺公衆トイレ、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN等

[維持管理経費]

報酬 1,671 (春日山観光案内職員等報酬)
 需用費 11,991 (消耗品費 865、光熱水費 7,562、修繕料 3,564)
 役務費 5,660 (Wi-Fi回線整備・使用料 2,302、上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料 912等)
 委託料 48,421 (海水浴場事業委託料 13,868、海岸清掃・整備委託料 11,430、観光施設清掃・整備委託料 4,315、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 4,752、高田まちなかサイン整備委託料 8,403等)
 使用料及び賃借料 5,480 (上越妙高駅観光案内所及び商業施設用地借上料 3,336等)
 補助金 300 (たにはま海水浴場臨海学校受入整備事業補助金)

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

<安塚区> 1,004

[維持管理施設]

雪だるま高原 (信越トレイル、高原内国有林野)、直峰城跡 (駐車場、公衆トイレ、遊歩道)、
観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 27 (消耗品費 4、光熱水費 23)
 役務費 4 (手数料)
 委託料 367 (公園等管理委託料)
 使用料及び賃借料 606 (雪だるま高原エリア借地料)

<牧区> 656

[維持管理施設]

弘法清水自然公園、信越トレイル接続道 (宇津俣峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 38 (消耗品費 3、光熱水費 35)
 役務費 136 (水質検査手数料)
 委託料 408 (公園等管理業務委託料)
 使用料及び賃借料 74 (弘法清水公園用地、看板用地借地料)

<柿崎区> 8,582

[維持管理施設]

柿崎中央海水浴場 (駐車場、公衆トイレ)、大出口公園 (公衆トイレ)、坂田池園地 (駐車場、
遊歩道、公衆トイレ)、米山登山道、下牧休憩施設、観光案内看板、上下浜温泉源泉施設等、観
光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 1,965 (消耗品費 67、光熱水費 1,304、修繕料 594)
 役務費 307 (トイレ汲み取り手数料 290、浄化槽検査手数料 17)
 委託料 5,970 (海水浴場事業委託料 4,338、観光施設清掃・整備委託料等 1,632)
 使用料及び賃借料 317 (観光施設用地借地料)
 原材料費 23 (補修資材等)

<大潟区> 9,982

[維持管理施設]

鶺の浜海水浴場 (鶺の浜海岸、公衆トイレ)、人魚伝説公園、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 477 (消耗品費 28、光熱水費 284、修繕料 165)
 手数料 233 (キャンプ場し尿汲み取り手数料)
 委託料 3,762 (海水浴場事業委託料 3,674、人魚伝説公園草刈等 88)
 使用料及び賃借料 425 (看板用地借地料 347、下水道使用料 78)
 補助金 5,085 (鶺の浜温泉 6 号井ポンプ本体及び入替工事補助金)

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

<頸城区> 6,675

[維持管理施設]

大池いこいの森 (キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ、観光案内看板等)

[維持管理経費]

需用費 524 (消耗品費 19、光熱水費 404、修繕料 101)
 役務費 286 (トイレ汲み取り手数料等)
 委託料 1,650 (公園等管理委託料 1,570、公衆トイレ浄化槽維持管理委託料 80)
 使用料及び賃借料 654 (大池いこいの森施設等借地料 563、集落排水使用料 91)
 原材料費 15 (駐車場用砕石等)
 補償料 87 (大池いこいの森等踏荒補償料)
 工事請負費 3,459 (第 3 キャンプ場駐車場拡幅工事、大正山整備工事)

<吉川区> 1,457

[維持管理施設]

長峰池公園 (駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、尾神岳遊歩道、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 442 (消耗品費 42、光熱水費 89、修繕料 311)
 役務費 17 (浄化槽検査手数料)
 委託料 704 (公園等管理委託料 503、浄化槽及び清掃維持管理委託料 201)
 使用料及び賃借料 244 (観光施設等借地料)
 原材料費 50 (補修資材等)

<中郷区> 10,788

[維持管理施設]

泉縄文公園 (駐車場、公衆トイレ)、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ、観光案内看板等

[維持管理経費]

報酬 572 (公衆トイレ及び温泉施設現業非常勤一般職員報酬)
 需用費 6,522 (消耗品費 33、光熱水費 1,541、修繕料 4,948)
 役務費 55 (浄化槽水質検査手数料 9、簡易温泉成分分析手数料 46)
 委託料 3,484 (公園等管理業務委託料 2,859、松ヶ峯温泉源泉ガスセパレーター
 清掃業務委託料 208、松ヶ峯温泉施設害虫調査業務委託料 6、道路
 脇支障木伐採等業務委託料 283、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管
 理委託料 128)
 使用料及び賃借料 155 (観光案内看板用地借地料 143、下水道使用料 12)

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

<板倉区> 1,904

[維持管理施設]

箕冠城址公園、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、山寺薬師公衆トイレ、信越トレイル接続道(光ヶ原、筒方峠、久々野峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 227 (消耗品費 6、光熱水費 193、修繕料 28)

役員費 72 (保険料 25、手数料 47)

委託料 1,446 (公園等管理委託料 775、観光施設清掃・整備委託料 433、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 238 等)

使用料及び賃借料 150 (観光看板敷地賃借料)

公課費 9 (自動車重量税)

<清里区> 360

[維持管理施設]

信越トレイル、接続道(梨平峠)

[維持管理経費]

委託料 360 (観光施設清掃・整備委託料)

<三和区> 523

[維持管理施設]

東部緑地公園(駐車場)、三和味の謎蔵(消防設備)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 5 (消耗品費)

委託料 415 (施設管理委託料)

使用料及び賃借料 103 (米本陣用地、看板用地借地料)

<名立区> 610

[維持管理施設]

名立ポケットビーチ、不動山登山道、観光案内看板等

[維持管理経費]

報酬 4 (ポケットビーチ草刈業務非常勤一般職員報酬)

需用費 340 (消耗品費 3、修繕料 337)

委託料 266 (観光施設清掃・整備委託料)

○目標達成状況

- ・市内観光案内看板の整備や公衆トイレの維持管理などにより、受入体制の向上を図った。
- ・各施設において重大事故の発生もなく、適切な維持管理と運営をすることができた。

【事業の成果】

- ・海水浴場における水難事故防止のため、遊泳注意喚起等を実施し、死亡等の重大事故の発生をゼロとした。
- ・各観光施設の維持管理に必要な修繕を適時適切に実施したほか、施設の清掃や遊具の点検等により、安全・安心で快適な利用環境を提供できた。

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・各施設の老朽化が進んでおり、今後、修繕費等の増加が懸念されるため、計画的かつ適切な修繕等を行うとともに、日常の点検業務を徹底するなど、より一層、安全で快適に利用してもらえるよう施設を適切に維持管理する。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 3,587

(単位：千円)

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
417,334	403,325			143,800	138 (諸収入)	259,387
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	14,009		3,590	510	9,909	

【目的】

当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すとともに市民との交流を促進し域内消費を拡大するなど、地域の活性化を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・休止中の施設を除く、指定管理者制度導入 15 施設の利用者数 944,996 人

<指定管理者制度導入施設 15 施設>

- ① 五智歴史の里会館
- ②～④ リフレッシュビレッジ施設 (くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家)
- ⑤ 安塚雪だるま高原
- ⑥ 牧湯の里深山荘
- ⑦ 柿崎マリンホテルハマナス
- ⑧ 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館
- ⑨ 吉川スカイトピア遊ランド
- ⑩ 吉川緑地等利用施設
- ⑪ 吉川ゆっぴりの郷
- ⑫ 板倉保養センター
- ⑬ ぬしんの里記念館
- ⑭ 三和ネイチャーリングホテル米本陣
- ⑮ うみてらす名立

<休止中の維持管理施設 1 施設>

大島あさひ荘

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<観光施設等管理総務費>

○実施内容、これまでの経過等

- ・所管する施設について、令和元年度から新規に本質的な在り方を検討したもの。
- ・公共の温浴宿泊施設等の再編に係る先進地視察
- ・温浴宿泊施設等の在り方の検討に係る関係機関との協議
- ・内閣府地方創生推進事務局への国家戦略特区提案の説明 など

<五智歴史の里会館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	国府 1 丁目 18 番 28 号
設置	平成 19 年度
構造	木造
面積	延床 240 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 19 年度
指定管理者	五智歴史の里協議会
指定の期間	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	20,070 人	17,667 人	19,850 人	19,737 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	806	-	-	
	施設管理委託料	-	63	-	
	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,851	5,851	5,960	5,960
	使用料及び賃借料	29	29	-	-
	合計	6,686	5,943	5,960	5,960
③公費投入額 (②-①)	6,686	5,943	5,960	5,960	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	333	336	300	302	

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	5,851
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	5,960
指定管理料の増減額	②-①	109

※消費税率上げのため、指定管理料が増加した。

○指定管理者の収支状況等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計 画	実 績
①収入	利用料金収入	-	4	-
	五智歴史の里会館管 理運営委託料	5,851	5,960	5,960
	その他	593	1,020	1,462
	②支出	6,296	6,860	6,980
差引 (①-②)	148	△108	4	483

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<リフレッシュビレッジ施設>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

くわどり湯ったり村

所在地 大字皆口 601 番地
 設置 平成 11 年度
 構造 鉄筋コンクリート造
 面積 延床 2,524 m²
 管理 指定管理

ヨーデル金谷

所在地 大貫 2 丁目 17 番 40 号
 設置 平成 11 年度
 構造 鉄骨造
 面積 延床 400 m²
 管理 指定管理

ゆったりの家

所在地 大字横畑 659 番地
 設置 平成 14 年度
 構造 木造
 面積 延床 154 m²
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	リフレ上越山里振興株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
くわどり湯ったり村	46,185 人	48,744 人	58,500 人	44,038 人
ヨーデル金谷	19,761 人	23,406 人	22,300 人	22,539 人
ゆったりの家	1,130 人	1,176 人	950 人	888 人
合計	67,076 人	73,326 人	81,750 人	67,465 人

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	6,140	4,814	9,327	8,764
	リフレッシュビレッジ施設管理運営委託料	44,418	44,418	42,933	42,933
	その他委託料	2,032	2,379	2,161	2,149
	使用料及び賃借料	52	62	71	40
	備品購入費	2,347	85	146	146
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	-	4,522	3,502
	その他	54	61	73	-
合計	55,043	51,819	59,233	57,534	
③公費投入額 (②-①)	55,043	51,819	59,233	57,534	
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位:円)	821	707	725	853	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	44,418
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	42,933
指定管理料の増減額	②-①	△1,485

※ゆったりの家の管理形態の見直しにより、対応人数や従事時間を縮減したため、指定管理料が減少した。

○指定管理者の収支状況等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	125,933	128,557	133,320	121,860
	リフレッシュビレッジ施設管理運営委託料	41,140	41,140	39,030	39,385
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	-	-	3,502
	その他	476	2,056	750	616
②支出	152,076	165,107	168,616	154,025	
差引 (①-②)	15,473	6,646	4,484	11,338	

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<安塚雪だるま高原>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

キューピットバレイスキー場

所在地 安塚区須川 4820 番地
 設置 平成 2 年度 ※平成 11 年度から公の施設として管理
 構造 鉄骨造
 面積 延床 16, 126 m²
 管理 指定管理

棚田動植物公園

所在地 安塚区須川 11584 番地
 設置 平成 15 年度
 構造 —
 面積 —
 管理 指定管理

菱ヶ岳グリーンパーク

所在地 安塚区須川 11497 番地
 設置 昭和 53 年度
 構造 木造
 面積 延床 102 m²
 管理 指定管理

ゆきだるま温泉雪の湯

所在地 安塚区須川 1881 番地
 設置 平成 3 年度
 構造 鉄筋コンクリート造
 面積 延床 2, 423 m²
 管理 指定管理

※令和元年 11 月から休止

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 16 年度
指定管理者	株式会社キューピットバレイ
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

※令和 2 年 3 月 31 日に株式会社キューピットバレイ解散のため、指定管理者指定を取消

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績
・利用者数等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
スキー場(センターハウス)	117,000人	118,900人	108,500人	72,550人
雪の湯	59,027人	57,206人	60,000人	24,647人
久比岐野	5,059人	5,006人	6,000人	4,257人
グリーンパーク	100人	71人	0人	0人
棚田動植物公園	558人	1,216人	500人	1,445人
ふれあい昆虫館	1,647人	2,138人	1,500人	1,569人
合計	183,391人	184,537人	176,500人	104,468人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	-	261	-	-	
②支出	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	15,752	15,752	41,580	41,580
	雪の湯閉鎖と少雪 の影響による減収 補填金※	-	-	57,806	57,136
	その他	994	1,050	1,183	1,182
	雪国文化村リゾート 推進事業	60,177	147,289	210,262	122,318
合計	76,923	164,091	310,831	222,216	
③公費投入額 (②-①)	76,923	163,830	310,831	222,216	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	419	888	1,761	2,127	

※消費税率の引上げ及びゆきだるま温泉「雪の湯」の休館と少雪の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	15,752
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	41,580
指定管理料の増減額	②-①	25,828

※Jホールディングス事業子会社内で統一的人件費の配置基準等に見直したことに加え、慢性的な赤字への配慮・業種による特殊要因 (全国的なスキー人口の減少) を踏まえ見直したため、指定管理料が増加した。

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	186,626	191,085	233,532	129,654
	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	14,585	14,585	37,800	37,800
	雪の湯閉鎖と少雪の 影響による減収補填 金※	-	-	-	57,136
	その他	300,182	299,717	193,952	152,680
②支出		518,611	504,548	438,217	376,450
差引 (①-②)		△17,218	839	27,067	820

※金額は全て税抜き

※ゆきだるま温泉「雪の湯」の休館と少雪の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<牧湯の里深山荘>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	牧区宇津俣 285 番地
設置	昭和 61 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,929 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 27 年度 (平成 27 年 10 月 1 日から)
指定管理者	株式会社太平堂
指定の期間	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	11,328 人	11,388 人	12,846 人	10,571 人
うち宿泊	1,827 人	1,928 人	1,846 人	1,816 人
うち日帰り	9,501 人	9,460 人	11,000 人	8,755 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	604	-	-	-	
②支出	修繕料	4,354	3,098	3,392	3,391
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,593	15,593	15,882	15,882
	その他委託料	4,245	247	927	927
	工事請負費	19,796	2,867	1,125	1,124
	工事請負費 (繰越)	-	36,545	-	-
	その他	618	518	530	527
合計	44,606	58,868	21,856	21,851	
③公費投入額 (②-①)	44,002	58,868	21,856	21,851	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	3,884	5,169	1,701	2,067	

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	15,593
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	15,882
指定管理料の増減額	②-①	289

※消費税率引上げのため、指定管理料が増加した。

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	47,242	47,236	44,800	45,520
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,593	15,593	15,882	15,882
	その他	-	-	-	-
②支出		66,443	66,719	58,238	60,833
差引 (①-②)		△3,608	△3,890	2,444	569

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<柿崎マリンホテルハマナス>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	柿崎区上下浜 262 番地
設置	平成 6 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,978 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	柿崎総合開発株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	36,102 人	34,595 人	33,150 人	24,500 人
うち宿泊	5,946 人	5,508 人	5,900 人	5,198 人
うち日帰り	30,156 人	29,087 人	27,250 人	19,302 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予算	実績	
① 収入	78	170	-	-	
② 支出	修繕料	4,341	2,858	3,587	3,516
	柿崎マリンホテル ハマナス管理運営 委託料	3,710	3,710	8,107	8,107
	その他委託料	184	150	665	664
	使用料及び賃借料	111	111	111	111
	工事請負費	1,409	4,590	5,991	5,990
	備品購入費	2,007	-	345	263
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	-	5,025	2,545
	その他	145	100	107	106
	合計	11,907	11,519	23,938	21,302
③ 公費投入額 (②-①)	11,829	11,349	23,938	21,302	
④ 利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)	328	328	722	869	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	4,350
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	8,107
指定管理料の増減額	②-①	3,757

※消費税率の引上げ及びJホールディングス事業子会社内で統一的な人件費の配置基準等に見直したため、指定管理料が増加した。

○指定管理者の収支状況等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
①収入				
利用料金収入	111,896	101,482	108,793	90,267
柿崎マリンホテルハマナス管理運営委託料	3,435	3,435	7,437	7,437
新型コロナウイルス減収補填金※	-	-	-	2,545
その他	1,256	2,533	1,200	845
②支出	133,854	122,630	117,292	111,033
差引 (①-②)	△17,267	△15,180	138	△9,939

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大潟区九戸浜 241 番地 8
設置	平成 9 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 3, 138 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社大潟地域活性化センター
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	91, 860 人	91, 535 人	91, 950 人	87, 950 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	3, 088	2, 805	9, 879	9, 766
	鵜の浜人魚館管理 運営委託料	36, 075	36, 075	38, 500	38, 500
	その他委託料	7, 690	3, 165	3, 489	3, 426
	使用料及び賃借料	911	826	826	826
	工事請負費	88	-	-	-
	備品購入費	-	891	379	375
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	-	4, 549	3, 348
	その他	104	82	87	86
合計	47, 956	43, 844	57, 709	56, 327	
③公費投入額 (②-①)	47, 956	43, 844	57, 709	56, 327	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額(単位：円)	522	479	628	640	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	36,075
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	38,500
指定管理料の増減額	②-①	2,425

※消費税率の引上げ及びJホールディングス事業子会社内で統一的な人件費の配置基準等に見直したため、指定管理料が増加した。

○指定管理者の収支状況等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	40,215	40,108	40,660	40,550
	鶺の浜人魚館 管理運営委託料	33,403	33,403	35,000	35,000
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	-	-	3,348
	その他	42,700	43,375	44,400	40,585
②支出	115,956	116,348	119,410	115,659	
差引 (①-②)	362	538	650	3,824	

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<吉川スカイトピア遊ランド>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区坪野 1458 番地 2
設置	平成 3 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,405 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計 画	実 績
利用者数	9,729 人	9,945 人	9,300 人	9,214 人
うち宿泊	1,616 人	1,687 人	1,650 人	1,530 人
うち日帰り	8,113 人	8,258 人	7,650 人	7,684 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	70	-	-	
②支出	修繕料	1,064	681	2,033	2,032
	吉川スカイトピア 遊ランド管理運営 委託料	2,533	2,666	2,367	2,367
	使用料及び賃借料	1,152	1,119	1,125	1,123
	工事請負費	-	-	406	405
	備品購入費	203	337	76	73
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	-	1,915	1,793
	その他	-	292	-	-
	合計	4,952	5,095	7,922	7,793
③公費投入額 (②-①)	4,952	5,025	7,922	7,793	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	509	505	852	846	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	2,577
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	2,367
指定管理料の増減額	②-①	△210

※新電力導入による電気料金を見直したため、指定管理料が減少した。

○指定管理者の収支状況等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
①収入				
利用料金収入	34,436	35,209	36,450	34,968
吉川スカイトピア遊 ランド管理運営委託 料	2,533	2,666	2,367	2,367
新型コロナウイルス 減収補填金※	-	-	-	1,793
その他	-	-	-	-
②支出	37,479	38,297	38,740	39,730
差引 (①-②)	△510	△422	77	△602

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<吉川緑地等利用施設>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区尾神 588 番地 1
設置	昭和 57 年度
構造	木造
面積	延床 504 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計 画	実 績
利用者数	1,739 人	1,247 人	1,900 人	1,034 人
うちボブスレー	962 人	495 人	1,000 人	580 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	23	-	-	64	
②支出	修繕料	161	1,149	1,149	
	吉川緑地等利用施設管理運営委託料	1,960	1,467	1,467	
	その他委託料	-	-	103	103
	土地借上料	-	166	167	166
	工事請負費	-	-	393	393
	合計	1,997	2,287	3,279	3,278
③公費投入額 (②-①)	1,974	2,287	3,279	3,214	
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位: 円)	1,135	1,834	1,726	3,108	

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	1,960
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	1,467
指定管理料の増減額	②-①	△493

※キャンプ場及び坪野親水公園を休止したため、指定管理料が減少した。

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	287	148	305	142
	吉川緑地等利用施設 管理運営委託料	1,960	1,960	1,467	1,467
	その他	622	665	643	488
②支出		2,665	2,580	2,376	2,136
差引 (①-②)		204	193	39	△39

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<吉川ゆったりの郷>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区長峰100番地
設置	平成9年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床3,457㎡
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	株式会社ゆったりの郷
指定の期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	79,245人	78,609人	75,000人	75,085人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	70	-	-	55	
②支出	修繕料	4,007	4,038	6,294	6,126
	吉川ゆったりの郷 管理運営委託料	5,192	5,192	5,288	5,288
	その他委託料	235	526	1,224	1,224
	備品購入費	2,055	5,177	-	-
	工事請負費	-	-	6,192	6,189
	新型コロナウイルス 減収補填金※	-	-	4,521	4,521
	その他	341	364	294	293
	合計	11,830	15,297	23,813	23,641
③公費投入額(②-①)	11,760	15,297	23,813	23,586	
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	148	195	318	314	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	5,405
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	5,288
指定管理料の増減額	②-①	△117

※Jホールディングス事業子会社内で統一的な人件費の配置基準等に見直したため、指定管理料が増加した。

○指定管理者の収支状況等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	47,591	47,281	47,820	45,692
	吉川ゆったりの郷管理運営委託料	4,807	4,807	4,851	4,851
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	-	-	4,521
	その他	111,230	107,609	103,263	103,441
②支出	162,927	158,863	155,774	157,508	
差引 (①-②)	701	834	160	997	

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<板倉保養センター>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区久々野 1624 番地 1
設置	平成 7 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 1,426 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	黒倉ふるさと振興株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	30,980 人	29,640 人	30,500 人	29,562 人
うち宿泊	1,390 人	1,430 人	1,530 人	1,487 人
うち日帰り	29,590 人	28,210 人	28,970 人	28,075 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	2,417	2,075	2,201	2,190
	板倉保養センター 管理運営委託料	3,700	3,700	8,096	8,096
	その他委託料	275	129	357	357
	備品購入費	-	-	78	59
	新型コロナウイルス 減収補填金	-	-	1,294	-
	合計	6,392	5,904	12,026	10,702
③公費投入額 (②-①)	6,392	5,904	12,026	10,702	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	206	199	394	362	

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	3,700
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	8,096
指定管理料の増減額	②-①	4,396

※消費税率の引上げ及び J ホールディングス事業子会社内で統一的な人件費の配置基準等に見直したため、指定管理料が増加した。

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	69,846	67,878	70,245	68,436
	板倉保養センター 管理運営委託料	3,426	3,426	7,360	7,427
	その他	694	526	600	1,050
②支出	77,356	77,702	77,945	76,356	
差引 (①-②)	△3,390	△5,872	260	557	

※金額は全て税抜き

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<ゑしんの里記念館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区米増 27 番地 4
設置	平成 17 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,359 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	一般財団法人ゑしんの里観光公社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	10,733 人	11,344 人	11,000 人	8,571 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	550	299	649	647
	ゑしんの里記念館 管理運営委託料	16,990	16,920	13,275	13,275
	その他委託料	317	266	357	357
	その他	739	154	85	84
	合計	18,596	17,639	14,366	14,363
③公費投入額 (②-①)	18,596	17,639	14,366	14,363	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	1,733	1,555	1,306	1,676	

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	16,920
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	13,275
指定管理料の増減額	②-①	△3,645

※人員配置基準を見直ししたため、指定管理料が減少した。

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	236	311	350	191
	あしんの里記念館 管理運営委託料	16,990	16,920	13,275	13,275
	その他	4,981	5,187	6,055	3,241
②支出	21,681	20,668	19,680	17,710	
差引(①-②)	526	1,750	0	△1,003	

決算書 (P 298～P 299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<三和ネイチャーリングホテル米本陣>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	三和区宮崎新田 124 番地 1
設置	平成 6 年度
構造	木造
面積	延床 1,995 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	三和振興株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計 画	実 績
利用者数	21,768 人	23,130 人	21,250 人	20,624 人
うち宿泊	4,189 人	5,065 人	4,670 人	5,032 人
うち日帰り宴会	7,373 人	6,920 人	7,890 人	7,101 人
うち風呂	7,495 人	8,273 人	7,000 人	6,748 人
うちレストラン	2,711 人	2,872 人	1,690 人	1,743 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	1,121	1,046	2,104	1,996
	三和ネイチャーリングホテル米本陣管理運営委託料	3,655	3,655	5,940	5,940
	その他委託料	130	151	449	448
	使用料及び賃貸料	293	294	296	294
	工事請負費	1,092	-	-	-
	備品購入費	508	-	1,816	1,816
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	-	2,942	2,942
	その他	235	174	187	185
合計	7,034	5,320	13,734	13,621	
③公費投入額 (②-①)	7,034	5,320	13,734	13,621	
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位:円)	323	230	646	660	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	3,655
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	5,940
指定管理料の増減額	②-①	2,285

※ J ホールディングス事業子会社内で統一的な人件費の配置基準等に見直したことに伴い、指定管理期間全体の指定管理料は減少したものの、直近の収支状況等を踏まえ、更新初年度に他年度より多く配分したため、指定管理料が増加した。

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	96,577	101,940	110,500	98,061
	三和ネイチャーリング ホテル米本陣管理運営 委託料	3,384	3,384	5,400	5,449
	新型コロナウイルス減 収補填金※	-	-	-	2,942
	その他	949	843	50	108
②支出		107,158	108,845	115,716	108,979
差引 (①-②)		△6,248	△2,678	234	△2,419

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<うみてらす名立>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	名立区名立大町 4280 番地 1
設置	平成 12 年度
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
面積	延床 8,605 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社ゆめ企画名立
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	373,630 人	392,820 人	380,000 人	384,240 人
うち健康交流館「ゆらら」	123,817 人	121,101 人	125,500 人	118,617 人
うち交流促進施設「光鱗」	11,215 人	11,247 人	11,500 人	10,685 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	4	10	55	18	
②支出	修繕料	5,872	6,525	6,371	6,369
	うみてらす名立管理	44,005	44,005	39,600	39,600
	その他委託料	9,278	9,381	13,060	13,054
	使用料及び賃借料	1,880	1,926	1,952	1,935
	工事請負費	3,286	1,134	1,944	1,944
	備品購入費	581	-	-	-
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	-	5,305	3,057
	その他	492	354	373	371
合計	65,394	63,325	68,605	63,330	
③公費投入額 (②-①)	65,390	63,315	68,550	63,312	
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位:円)	175	161	180	173	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	44,005
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	39,600
指定管理料の増減額	②-①	△4,405

※Jホールディングス事業子会社内で統一的な人件費の配置基準等に見直したため、指定管理料が減少した。

○指定管理者の収支状況等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	530,325	540,481	544,000	504,313
	うみてらす名立管理運営委託料	40,745	40,745	36,000	36,333
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	-	-	3,057
	その他	898	1,017	-	994
	②支出	569,945	582,634	578,270	551,983
差引 (①-②)	2,023	△391	1,730	△7,286	

※金額は全て税抜き

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

<大島あさひ荘>

○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理者の経営破綻により平成24年3月1日から平成25年6月30日まで休館
- ・平成25年7月1日から新たな指定管理者を指定し、宿泊部門を除いて営業を再開したが、平成26年12月をもって指定管理者の指定を取り消し、平成27年1月から休止
- ・施設休止後、必要な管理を行い、施設の維持保全に努めた。

○施設の管理実績

- ・施設における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	68	-	-	
	大島あさひ荘管理運営委託料	494	651	243	8
	その他	138	24	532	523
	合計	700	675	775	531
③公費投入額 (②-①)	700	675	775	531	
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	-	-	-	-	

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○目標達成状況

- ・休止施設を除く 15 施設の利用者数の合計は、目標に対して 101,975 人少ない 843,021 人となり、目標を達成できなかった。
(目標達成率：89.2%、目標達成：3 施設、目標未達成：12 施設)

【事業の成果】

- ・指定管理者の自主事業などの企画運営、ネットワークや柔軟な宣伝活動などにより、県内外から利用者を誘客できた。
- ・指定管理者の能力を活用することにより、迅速な対応、効率的な施設の維持管理ができ、利用者に安全安心な施設の利用環境を提供できた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・上半期は大型連休もあり、堅調な動きを見せる施設もあったが、下半期は消費税増税による利用控え、台風 19 号や新型コロナウイルス感染症、少雪などの影響により、利用者数や売上が大きく落ち込み、多くの施設で目標を達成できずに、厳しい経営状況となった。
- ・一方で、経費節減など経営改善に向けた取組がこれまで以上に求められる。
- ・今後は、新型コロナウイルスの影響などにより経営環境の改善に見通しがつかない中、引き続き営業形態の見直しや経費節減策を検討しながら、適切な施設等の管理運営に努めていく。
- ・また、施設の利用者数の減少や、老朽化に伴う修繕や改修のために更なる公費負担が懸念される状況を踏まえ、地元や関係者との十分な協議を実施しながら、日帰り温浴施設、温浴・宿泊施設の方向性の検討を進めていく必要がある。

【執行残額について】

事業未実施：施設経営健全化業務委託の実施内容変更による執行残	3,206
くわどり謙信公トレイルの中止による執行残	104
研修会出席、委託業務等が不要になったことによる執行残	280
入札差金：修繕料、委託料、備品購入費の見積合わせに伴う執行残	510
その他：指定管理者の事業実績に伴う減収補填金の清算による執行残	9,035
修繕料、電信電話料、借上料等の事業実績に伴う執行残	874

(単位：千円)

決算書 (P298～P301)	7款1項5目 観光物産センター費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光物産センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
19,468	19,375				5,097 (使用料、財産収入)	14,278
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	93				93	

【目的】

市内事業者による貸館利用や姉妹都市の観光と物産展の開催など、観光客や市民に対し特産品等の展示・販売を行うとともに、観光施設のパンフレット、イベントチラシ等の配置・配布による観光情報の発信を行い、誘客促進を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・貸館利用回数：500回
- ・利用者数：121,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 大字藤野新田 175 番地 1
 設置 平成 3 年度
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
 施設内容 大ホール：592 m²、中ホール：157 m²、会議室：111 m²
 ふるさとコーナー、事務室
 面積 延床 2,463.59 m²
 管理 直営
 利用形態 貸館施設

・観光物産センターのにぎわい創出

施設管理業務を委託している公益社団法人上越観光コンベンション協会と連携し、正月にはおもてなし武将隊が買物客を出迎える等、にぎわいの創出を行ったほか、「姉妹都市と上越市の観光と物産展」の会場として使用する等、施設の誘客促進を図った。

・観光情報コーナーの充実及びパンフレットの更新

市内の観光施設・観光資源や姉妹都市・友好交流都市を紹介したパンフレット、各種イベントチラシ等を取り揃え、観光情報発信機能の向上に努めた。

決算書 (P 298～P 301)	7 款 1 項 5 目 観光物産センター費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光物産センター管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			目 標	実 績
利用者数	98,924 人	97,143 人	121,000 人	79,318 人
貸館利 用回数	大ホール	122 回	170 回	99 回
	中ホール	122 回	170 回	80 回
	会議室	112 回	160 回	122 回
	計	356 回	500 回	301 回

・施設管理における市の収支状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			予 算	実 績
①収入	使用料	8,204	8,234	4,857
	その他	240	240	240
	合計	8,444	8,474	5,097
②支出	施設維持管理費	18,154	19,468	19,375
	うち委託料	9,039	8,970	8,969
	合計	18,154	19,468	19,375
③公費投入額 (②-①)	9,710	13,479	10,994	14,278
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)	98	139	91	180

○目標達成状況

- ・貸館利用回数は 301 回 (達成率: 60%)、施設利用者数は 79,318 人 (達成率: 66%) で、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・目標を達成できなかったものの、観光情報発信機能を持つ観光拠点施設として、また、大規模イベントを開催できる貸館・集客施設として、一定の役割を果たすことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・建設から 29 年が経過し施設の老朽化が進んでいることから、今後、修繕費の増加や設備の改修工事が見込まれる。

【執行残額について】

その他: 事業実施に伴う執行残 93

(単位：千円)

決算書 (P312～P313)	8款4項1目 港湾管理費	所管課等	産業立地課
事業名	港湾管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,451	1,316				263	1,053
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	135				135	

【目的】

多くの人々が直江津港を訪れ、港に親しむとともに、港を身近に感じ、理解を深めてもらえる機会を提供する。

直江津港案内看板等所管施設の維持管理を適切に行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

賑わい創出事業 1,316

○令和元年度目標

- 直江津港における賑わいの創出と港への理解を深めるため、直江津港フェスティバル実行委員会が実施する直江津港フェスティバルを支援し、前回実績(平成29年度 来場者数5,039人)以上の来場者を呼び込む。

○実施内容、これまでの経過等

- 直江津港フェスティバル2019

実行委員会にフェスティバル開催に要する経費を支援するとともに直江津港関係団体と連携して港の役割や機能を学ぶ見学会などのイベントを開催した。

開催日：令和元年8月18日(日)

会場：佐渡汽船ターミナル前広場、佐渡汽船ターミナルほか

主な企画：ステージアトラクション、みなと見学会、協力企業や関係団体によるPR・体験ブースなど

来場者数：3,518人(延べ人数)

○目標達成状況

- 前回より開催時間が短かったことなどから、全体の来場者数は減少したものの新たな協力企業によるPR・体験ブースが増えたことでターミナル内イベントの来場者は増加した。

直江津港案内看板等管理事業 0

○実施内容、これまでの経過等

- 直江津港案内看板等所管施設について、突発的な修繕は発生しなかった。

決算書 (P312～P313)	8 款 4 項 1 目 港湾管理費	所管課等	産業立地課
事業名	港湾管理費		

【事業の成果】

- ・直江津港フェスティバルを開催し、市民を始め多くの方に直江津港の機能や役割について理解を深めていただく機会となった。
- ・直江津港案内看板等所管施設の維持管理を適切に行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き港を身近に感じ、理解を深めてもらえる機会の創出に努める。
- ・直江津港案内看板等を引き続き適切に維持管理する。

【執行残額について】

その他：直江津港フェスティバルに要する経費が見込みを下回ったことによる負担金の残
案内看板等の修繕が発生しなかったことによる残

44
91

(単位：千円)

決算書 (P312～P313)	8款4項1目 港湾管理費	所管課等	産業立地課
事業名	港湾整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,211	2,096				77 (諸収入)	2,019
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	115				115	

【目的】

当市の重要な産業基盤である直江津港の機能を強化するため、港湾関係団体との連携を図りながら、港湾計画に基づく直江津港の整備を促進する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・国や新潟県が実施する直江津港の整備が計画どおり進められるよう働きかけを行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・新潟県港湾協会負担金ほか

新潟県港湾協会や直江津港湾協会など港湾関係団体への負担金・補助金の支出及び総会等への参加

○目標達成状況

- ・県や港湾関係団体と連携した要望活動を行うなど、直江津港の整備が計画どおり進められるように働きかけを行った。
- ・新潟県港湾協会など関係団体との緊密な関係を構築し、港湾行政に関する情報収集を行った。

【事業の成果】

- ・要望活動等を通じて、港湾整備が着実に進捗しており、今後、大型船の円滑な入出港や荷役の効率化が期待される。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・港湾施設の整備、更新の実現性を高めるため、引き続き関係団体と連携した要望活動を行うとともに、直江津港の取扱貨物量の増加に向けた取組を推進していく。

【執行残額について】

その他：旅費や負担金の実績が当初見込みを下回ったこと等による執行残 115

(単位：千円)

決算書 (P382～P383)	11款3項1目 観光施設災害復旧費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,674	1,673			1,600		73
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1				1	

【目的】

台風19号により、キューピットバレイスキー場のコースの一部が崩落したため、復旧する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・コース崩落復旧工事
 - 掘削・素掘り側溝工 一式
 - 暗渠排水工 一式

【事業の成果】

- ・台風19号により崩落したキューピットバレイスキー場のコースの復旧工事を行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設の適切な維持管理を行っていく。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 1